

延命の湯

Enmei noyu
(山梨県北杜市)



外観

小淵沢へやってきた。ここは中央道小淵沢インターのすぐ近くにある道の駅・小淵沢。休日の午後は大変な混雑だ。広大な駐車場も満車。車を止める場所を探すのに苦労した。道の駅にはレストランの他に、パン工房、ジャム工房、蕎麦打ち体験のできる施設が立ち並ぶ。八ヶ岳周辺は農業が盛んであり、桃、葡萄、ブルーベリー、蕎麦、アイスクリーム、チーズ、馬肉などのうまいものが食べられ、しかも夏でも涼しいとあって、訪れる人を魅了しているようだ。

今回紹介する延命の湯は、この道の駅に隣接するスパティオ小淵沢の中にある日帰り入浴施設だ。正直言ってどこまでが道の駅でどこからがスパティオ小淵沢なのかはよく分からない。スパティオ小淵沢は延命の湯の他に、ホテル、コンベンションホール、レストランなどで構成される。

駐車場代がタダということもあって、多くの自転車族がここに駐車し、ここを起点にして車に積み込んできた自転車でサイクリングを楽しんでいるようだ。当然のことながら、彼らもサイクリングの後にこの温泉を利用することになるのであろう。ちなみに、我々取材班は、長野県の原村でグレストンスキーを楽しんできたところである。

延命の湯のロビーは広く、マッサージ椅子や、自動販売機、貴重品ロッカー、広い休憩スペースがある。まずは券売機でチケットを買って入場する。

脱衣室にはロッカーはあるが、数が少ない。ロッカーが埋まっていれば、籠に脱いだものを入れることになる。ロッカーの利用には 100 円硬貨が必要だが、使用後に 100 円は返却される。

浴室の洗い場は 14 か所。少々混み合っているようだ。カランは自閉式サーモスタット混合栓。なぜか温度制御がうまく作動していないようで、シャワーヘッドと蛇口では異なる温度の湯が出てきてしまう。リンスインシャンプーとボディーソープは具備。他にシャワーブースも 2 か所ある。

浴槽は内湯に 1 か所、露天に 2 か所ある。内湯と奥の露天風呂（小屋組みの下）は熱め、手前の露天風呂はぬるめになっている。湯は薄い茶色で濁った外観だ。私のお気に入り手前の露天風呂だ。露天風呂の床は滑り止めの意味もあって小石が敷き詰められているが、足の裏が少々痛い。

サウナは定員 10 人程度か。室内温度は 100℃。かなり熱く感じる。水風呂もある。

ちなみに延命の湯は、ナトリウム塩化物・炭酸水素塩泉（中性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後の回復、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病に効くという。

延命の湯は、小淵沢のみならず八ヶ岳山麓で遊んだ後の締めくくりとしてもってこいの温泉である。

- **名称**：延命の湯
- **所在地**：山梨県北杜市小淵沢町 2968-1
- **電話**：0551-36-6116
- **営業時間**：10：00～24：00（最終受付 23：00）
- **定休日**：第 1 月曜日（10 月と 2 月は第 1 月曜日と第 1 火曜日）
- **入浴料**：

区分	大人	小学生	6 歳未満
市外からの利用者（昼間）	600 円	200 円	無料
市外からの利用者（夜間）	400 円	200 円	無料
北杜市民（昼間）	450 円	200 円	無料
北杜市民（夜間）	300 円	200 円	無料

夜間は 4 月～9 月は 20：00 以降、10 月～3 月は 19：00 以降。

- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2013 年 7 月 28 日（日）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部